

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36080
事業名	自殺総合対策推進費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 精神保健福祉セ			電話番号	011-622-5190
施策名	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	我が国の年間自殺者数は2万人を超えており、国は自殺対策基本法を制定し、自殺総合対策大綱を策定している。本市においても年間300人以上の方が自殺で亡くなっており、2024年に第4次札幌市自殺総合対策行動計画を策定し、自殺対策に係る取組を推進している。
	事業内容(何を実施し)	自殺対策推進のため、国の「地域自殺対策強化交付金」メニューに従い、様々な事業を実施することで、誰も自殺に追い込まれることのない社会を実現する。 【補助対象外】①札幌市自殺総合対策連絡会議内に部会を設置し、効果的な自殺対策を検討／北海道地域自殺対策強化交付金【補助率1/2】②普及啓発として講演会や地域密着型活動の実施／③自死遺族支援研修会の実施／④札幌市自殺総合対策連絡会議の実施等による計画策定実態調査事業／【補助率2/3】⑤若者向けの啓発マンガ冊子の配付やイベントの実施／⑥自殺未遂者対策の実施／⑦ゲートキーパー研修会の開催／⑧被災者の心のケア／【補助率10/10】⑨若者の自殺危機対応チーム事業／北海道地域自殺対策強化交付金(新型コロナウイルス感染症に対応した自殺防止対策事業)【補助率3/4】⑩心の健康づくり電話相談の夜間・休日対応
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	「ひとりでも多くの命を救う」社会的な要因への働きかけを含めた様々な施策を講じることにより、市民が周囲の人たちを支えあい、自殺を考えている人を地域全体で救うことで、安心・安全に暮らすことのできる社会の実現を目指す。
	他都市の状況	自殺対策基本法及び国の自殺総合対策大綱に基づき、全ての都道府県と市町村において、各地域の特性に応じた計画を策定し、自殺対策に係る取組を展開している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	10,048 千円	うち特定財源	6,767 千円	正規職員業務量	4.1 人工
令和5年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	7,641 千円	正規職員業務量	2.18 人工
令和5年度決算額	11,066 千円	うち特定財源	5,241 千円	正規職員業務量	2.18 人工
令和6年度予算額	21,000 千円	うち特定財源	16,501 千円	正規職員業務量	2.18 人工

指標	アウトプット活動指標1	ゲートキーパーに関する研修受講者数(累計)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		15132	15600	16337	17100	19652	21152
	↓						
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	新型コロナウイルス流行に伴い、大規模な集合研修が開催できず受講者数が低迷した時期もあったが、オンラインやハイブリッド等、開催方法を工夫しながら研修会を継続し、流行以前まで受講者数が回復している。引き続き、自殺対策に係る人材確保及び養成に取り組んでいく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	社会情勢等の変化に影響を受けにくい研修方法を検討し、柔軟に対応できるよう関係機関との連携強化や様々な研修方法に対するスキル向上に務める。